

# 素粒子、光で地球をのぞく

— 夢の地球観測技術がもたらす革命 —

## スケジュール

2015年6月9日(火) 15:00 ~ 18:00 / 東京プリンスホテル 鳳凰の間

15:00 ~ 15:15

開催挨拶

15:15 ~ 16:55

講演

「火山を透視する」

田中 宏幸 (東京大学)

「地球ニュートリノ観察による地球の可視化」

井上 邦雄 (東北大学)

「積乱雲を可視化するフェーズドアレイレーダ」

牛尾 知雄 (大阪大学)

「福島第一原発の透視」

中村 光廣 (名古屋大学)

15:55 ~ 16:40

パネルディスカッション Part1

パネリスト

▶ 田中 宏幸 (東京大学)

▶ 牛尾 知雄 (大阪大学)

▶ 井口 俊夫 (情報通信研究機構)

▶ ピーター・レヴァイ (ハンガリー科学アカデミー)

▶ 井上 邦雄 (東北大学)

▶ 竹内 薫 (サイエンス作家)

▶ ジョン・グルーヤス (ダラム大学)

モデレーター

堀内 典明 (*Nature Photonics*)

16:40 ~ 17:00

休憩

17:00 ~ 17:45

パネルディスカッション Part2

17:45 ~ 18:00

閉会の挨拶

# 素粒子、光で地球をのぞく

— 夢の地球観測技術がもたらす革命 —



第 16 回

## プロフィール



田中 宏幸

東京大学教授

専門分野は高エネルギー素粒子を用いた地球観測。素粒子を用いた巨大物体の透視撮影を世界で初めて実証した。この分野における世界的な先駆者。



井上 邦雄

東北大学教授

ニュートリノ科学研究センター長

カミオカンデ・スーパーカミオカンデを使って太陽ニュートリノ問題の解明に、またニュートリノ地球物理の創出や宇宙・素粒子の大問題解明に挑戦している。



牛尾 知雄

大阪大学准教授

電波リモートセンシング、地球観測、雷放電、環境電磁工学などの研究に従事。世界最速で降雨の構造を3次元的に見ることができる気象レーダーの開発に成功した。



中村 光廣

名古屋大学教授

素粒子や暗黒物質の観測機器を原子核乾板技術によって開発。国際共同研究 OPERA では超高速自動飛跡読み取り装置の開発も担当。原子核乾板技術を応用した火山、溶鉱炉、原発などの大型構造物の透視にも取り組む。



竹内 薫

サイエンス作家

物理、数学、脳、宇宙、など幅広い科学ジャンルで発信を続ける一方、テレビ、ラジオ、講演なども精力的に活動している。



井口 俊夫

情報通信研究機構フェロー

電磁波計測研究所前所長

これまでほぼ一貫して電波を利用したリモートセンシング技術の研究を行ってきた。熱帯降雨観測計画 (TRMM) から全球降水観測計画 (GPM) へと続く人工衛星による降水の3次元構造の観測計画においては、我が国における主導的研究者として、研究立案やシステム開発に携わってきた。



ジョン・グルーヤス

ダラム大学教授

ダラム大学地球エネルギーセンター長

2001年にエイコン石油ガス株式会社を創業。これまでに地層や石油地球化学関係の論文を多く出版している。また、英国地質学会戦略室、理事会をリードしてきた。



ピーター・レヴァイ

ハンガリー科学アカデミー教授

ウィグナー物理学研究センター長

これまでに素粒子物理学分野の理論的研究を精力的に進めてきた。これまで出版してきた論文のサイト数は共同研究も含めて6500余りに上る。